



# 判断力、機動力、チーム力で命を救え！ ～ドクターヘリ・カー、災害医療の経験から～

## 先端研究紹介講座



実施日：平成29年11月8日

実施場所：群馬大学荒牧キャンパス GA308教室

講演者：前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 町田 浩志先生

## 1.概要

今回の先端研究紹介講座の開催にあたり、社会情報学部1年生で意見を出し合った結果、「救命救急」が昨今ドラマのテーマにもなり、皆が興味を持ちやすいのではないかと考え、前橋赤十字病院高度救命センター集中治療科・救急科の町田浩志先生に講演を依頼した。

前期に私は、教育学部の黒羽正見先生の教養科目「地域社会実践論」を受講した。その中で1度町田先生の講義を受けたことから、同科目の山口幸男先生に町田先生をご紹介いただき、本講演の依頼についてメールで連絡を行った。

事務の方と自学部の先生方に添削していただいていたから、町田先生とメールのやり取りをし、講演内容や日程、大学までのアクセス方法などについて事前確認をした。

また、2017年度教社GFL生以外の生徒の参加を募るため、ポスター(図1)を作成し、Moodle上にも掲示した。

当日は、講演前に町田先生にご挨拶をし、講演会では司会進行をした。講演後は、講演を聴講した感想を含め、お礼のメールを町田先生に送付した。

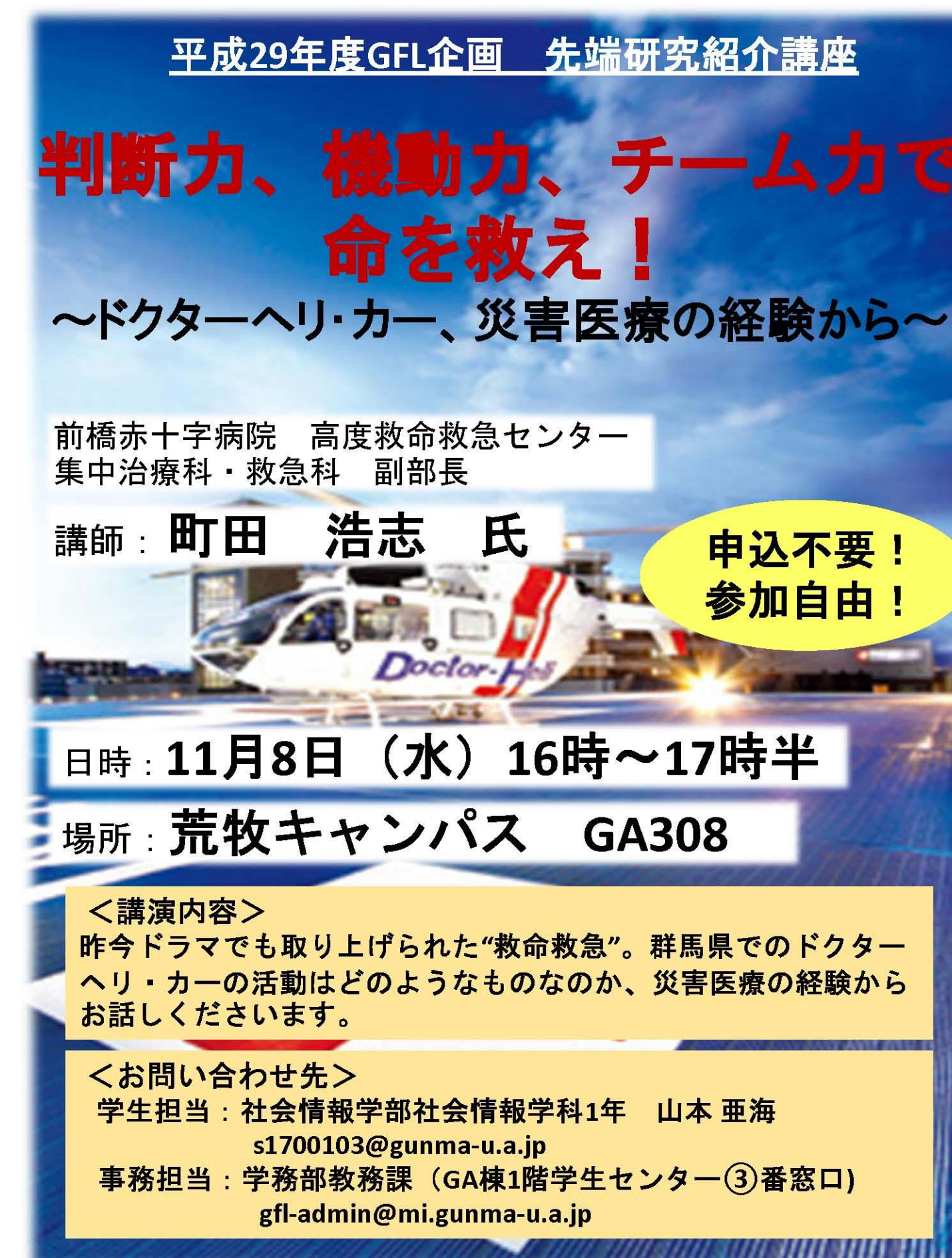


図1 広報用ポスター

## 2.講演内容

講演では、ドクターヘリ・カーの役割と災害医療の活動、また東日本大震災で実際にどのような活動をしていたのかなどについて、実際の写真や動画を用いて説明して下さった。ドクターヘリの使用により死亡者数や患者の重度後遺症割合が減少し、患者の早期治療に役立っている。また災害医療におけるDMAT(Disaster Medical Assistance Teams)は「CSCATTT」(Medical Management)を方針とし、体系的な対応を取る。

### <ドクターヘリ・カーの役割>

「空飛ぶ救急治療室」と呼ばれ、医師を1分1秒でも早く患者の元へ送ることで、早期治療の開始を目的としている。結果としてヘリの使用により、患者の死亡を27%、重度後遺症を45%削減している。ドクターカーの車内にはほぼ全ての医療器具が揃えてあり、レントゲン撮影以外の救急外来での初期治療と同じレベルの医療を展開できる。

### <災害医療のためのDMAT>

災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームであるDMATは「CSCATTT」を軸とし、現場で対応している。

「CSCATTT」

C:Command & Control

指揮命令(統制・調整)

S:Safety

安全

C:Communication

情報伝達

A:Assesment

評価

T:Triage

トリアージ

T:Treatment

治療

T:Transport

搬送

### <医師として重要な3つの力>

- ・現場の状況を踏まえ、全体がスピーディーかつ最良の活動を行えるように適切な優先順位を決めるための判断力
- ・決まった方針を患者や被災者に提供できる実力を持ち、現場で実行する機動力
- ・どんな状況下であってもその場にいた人たちと同じ目的に向かって協力することが出来るチーム力

ドクターヘリには治療や搬送するうえで判断力と機動力、また病院や消防、警察、住民など多職種連携により成り立っているというチーム力が必要不可欠なのである。



図2 司会進行の様子



図3 講演の様子



図4 質疑応答の様子

## 3.感想

私は物事を行うとき、踏むべき段階を着実に進むことを心掛けてきていたが、町田先生の、時と場合によってはその段階を省き、自分が最良だと考える方法を行うべきであるという言葉聞き、自分にはない新たな考え方を発見できた。また東日本大震災で現地にいた被災者と医療関係者が、食料が充分になく、環境が整っていない中、どのような選択をし、活動したのかという、普段聞けない話を聞くことが出来たのはとても良い経験になった。

また企画の進め方や目上の人と連絡を取る際のマナーについて知ることが出来たことが、私にとってとても大きな収穫になった。今回の講演を通して、何事をするにも計画を立て、責任を持ち、自分が取った選択に自信を持つことが何より重要だということを学んだ。そして仮に失敗してしまっても、自分がその決断を取ったことは責めずに、その原因と改善策を見つけることを、これから心掛けていこうと思った。

## 4.謝辞

ご多忙の中、ご講演いただいた町田浩志先生に心よりお礼申し上げます。また、講演の企画・依頼等でご協力いただきました井門亮先生、山内春光先生、学務部教務課の河端奈津実さん、理工学部学務係の原田奈未さん、誠にありがとうございました。